

**【1. 協定に至る経緯及び目的】**

岩手県・大分県では、半導体関連企業が立地・集積しており、15年以上前から産学官が連携する協議体を設立し、人材育成や販路拡大等の課題に先進的に取り組んでおり、これまでの交流の経緯をもとに、令和6年2月に、県や協議体における半導体関連産業の振興に関する連携協定を締結し、半導体関連産業の一層の集積や経済活性化を図っているところである。

昨年度実施した岩手県への視察を契機に両県からの働きかけもあり、三重県も両県の取組に新たに参画することとなった。地域が異なる各県の取組の活発化を図り、更なる産業の集積、高度化を目指す。

**【2. いわて半導体産業振興集積促進協議会、大分県LSIクラスター形成推進会議及びみえ半導体ネットワークによる半導体関連産業の振興に関する合意書の主な内容】**

- ア 相互交流等による「顔の見える」信頼関係の構築
- イ 人材・技術交流などを通じた企業経営力の向上
- ウ 共同商談会等による取引拡大・販路開拓
- エ 災害時の製品・サービス供給に関する相互協力 など

**【3. 岩手県、大分県及び三重県との半導体関連施策の連携に関する協定書の主な内容】**

- ア 国への要望等における連携
- イ 半導体関連産業の動向や施策に関する情報共有
- ウ 各県協議体が行う経済交流等への支援 など

**【いわて半導体産業振興集積促進協議会の概要】**

- (1) 設置目的 半導体関連産業を戦略産業分野と位置付け、その集積を促進するための取組を加速させ、岩手を半導体関連産業の集積を通じた「ものづくり産業」の一大集積地とするため、地域が一体となって取組を推進
- (2) 設置時期 平成20年3月
- (3) 構成メンバー 半導体関連企業、教育機関、金融機関、行政機関等  
428社・団体（内 企業352社）

**【大分LSIクラスター形成推進会議の概要】**

- (1) 設置目的 産学官が一体となったネットワークを形成し、高度製造技術をより一層集積する戦略的な取組を推進
- (2) 設置時期 平成17年4月
- (3) 構成メンバー 半導体関連企業、教育機関、金融機関、試験研究機関、行政機関等  
125社・団体（内 企業114社）

**【みえ半導体ネットワークの概要】**

- (1) 設置目的 県内の産学官が連携するネットワークを構築し、国内外で需要が高く、競争が激化している半導体関連産業の高度専門人材の育成・確保や半導体関連企業の操業環境支援等を推進することにより、県内の半導体産業の競争力の維持・強化を図る
- (2) 設置時期 令和5年3月
- (3) 構成メンバー 半導体関連企業、教育機関、行政機関 11社・団体（内 企業4社）